



# 個人投資家サーベイ

個人投資家の皆様の相場環境に対する意識調査のため、2011年4月8日～4月11日にアンケートを実施しました。ご回答くださった皆様には、ご協力に感謝いたします。誠にありがとうございます。今、個人投資家の皆様が、相場をどのようにとらえているのか、調査結果をまとめました。

「Monex 個人投資家サーベイ」は、個人投資家の相場環境に対する意識調査として毎月アンケートを行い、その調査結果をまとめたものです。2009年10月に第1回サーベイを行い、月次で公表しております。

※2011年3月は東日本大震災の状況を鑑み、アンケートを実施しておりません。

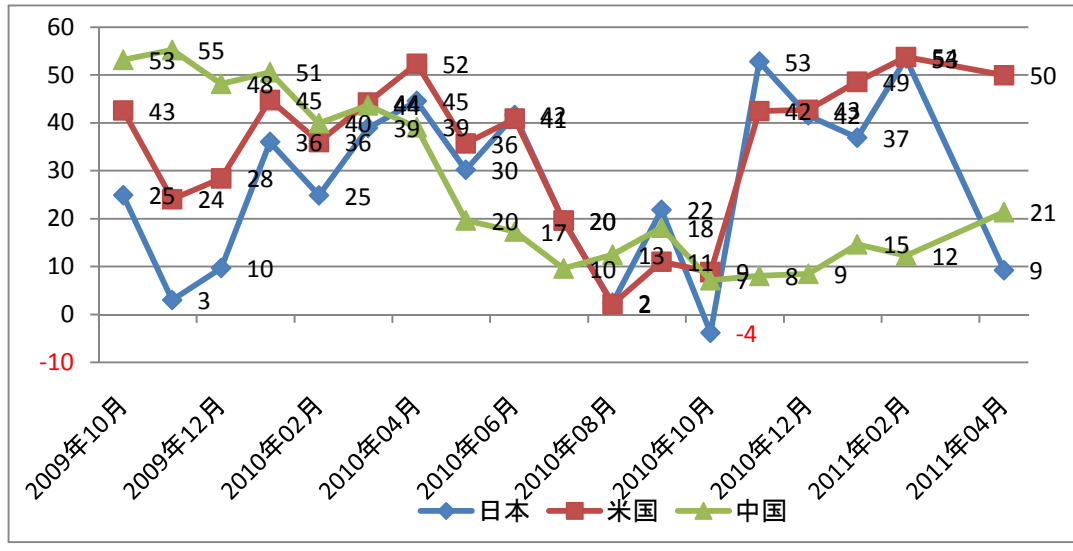
被害にあわれた地域の皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。



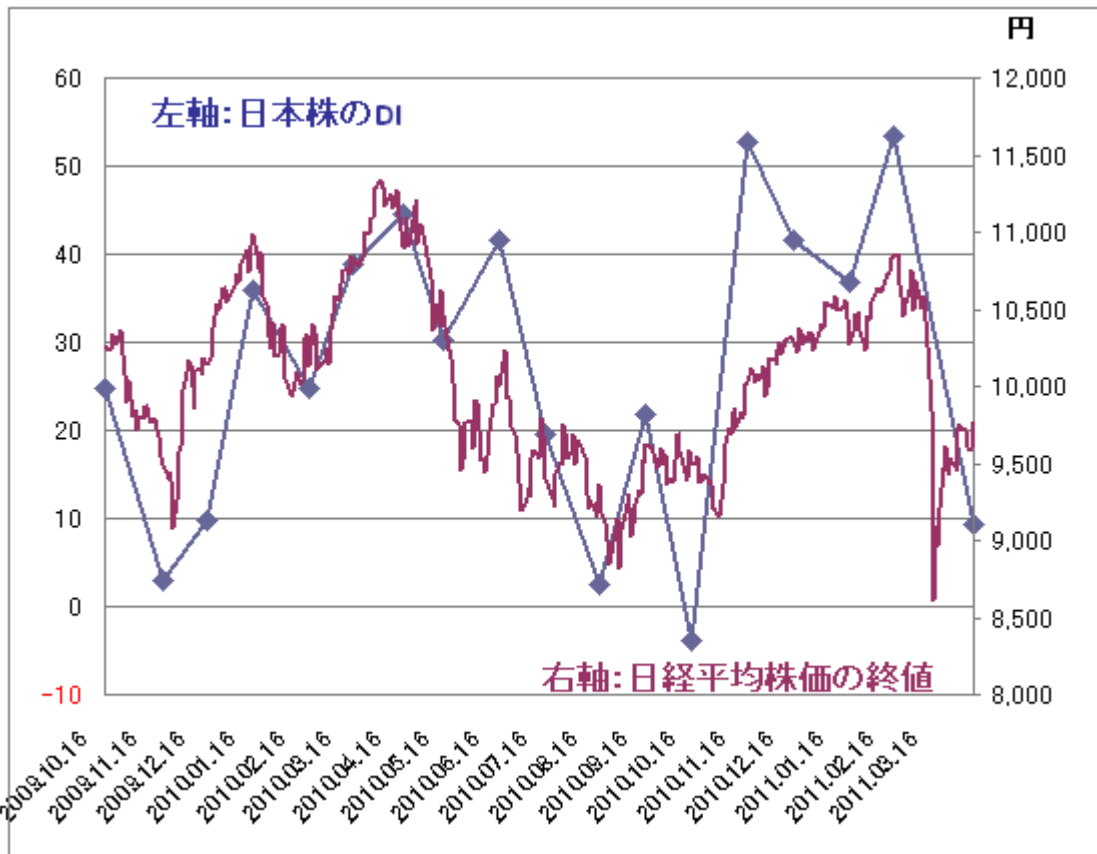
## ■ 調査結果

### 1 株式市場を取り巻く環境について

(1) 今後3ヶ月程度の株価予想（日本、米国、中国のDI推移）



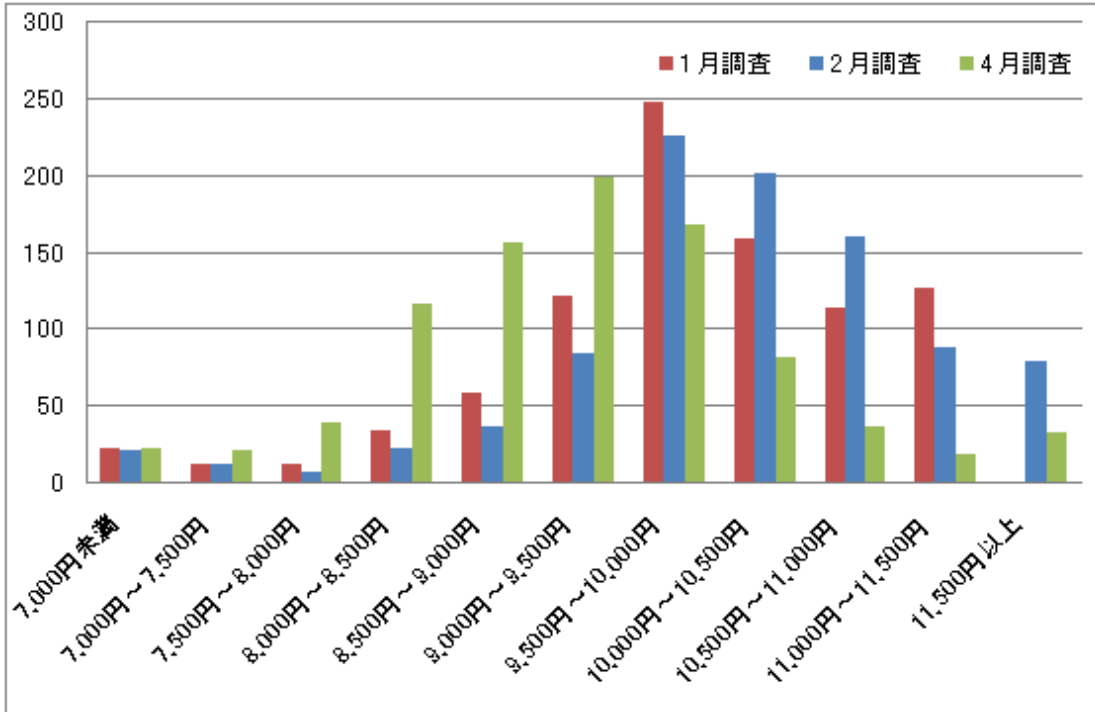
日本株の DI (※) は急低下したものの過去最低を下回りませんでした。米国株は若干の低下、中国株は上昇を見せています。(※DI:「上昇すると思う」と回答した%から「下落すると思う」と回答した%を引いたポイント)



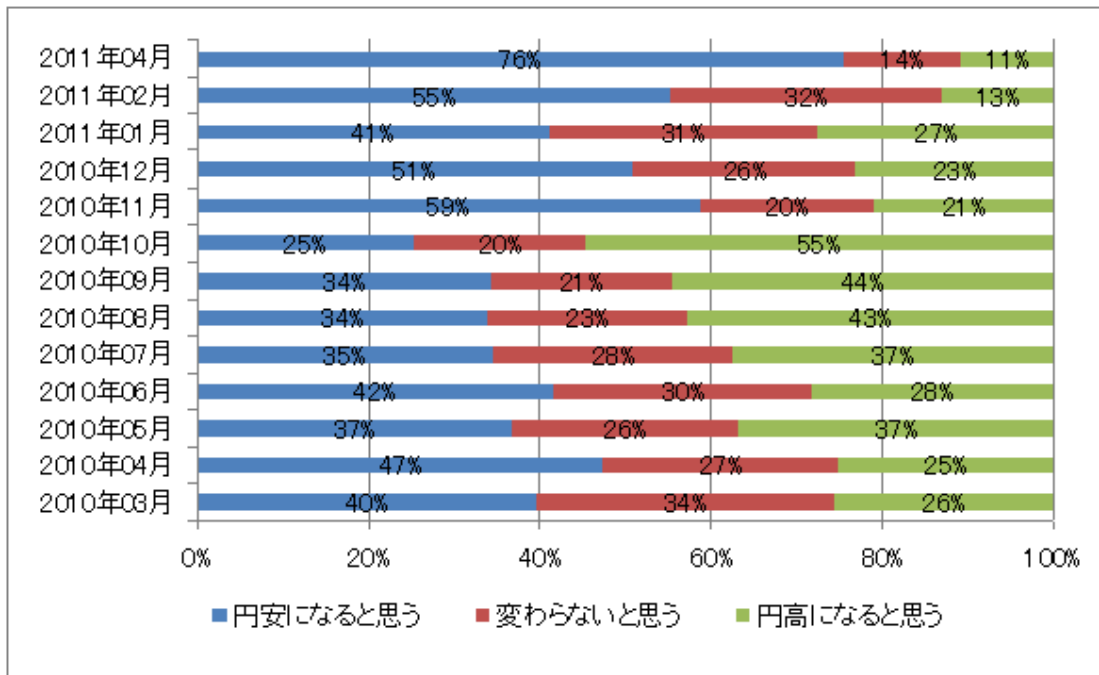


(2) 日本株を買いたい水準

(日経平均株価がどの水準であれば、日本株を買いたいと思いますか?)



(3) 今後3ヶ月程度の米ドル/円相場予想



円安を予想する方の比率が7割を超えました。2009年10月の調査開始以来、最も高い割合です。



## 2 日本の株式市場について

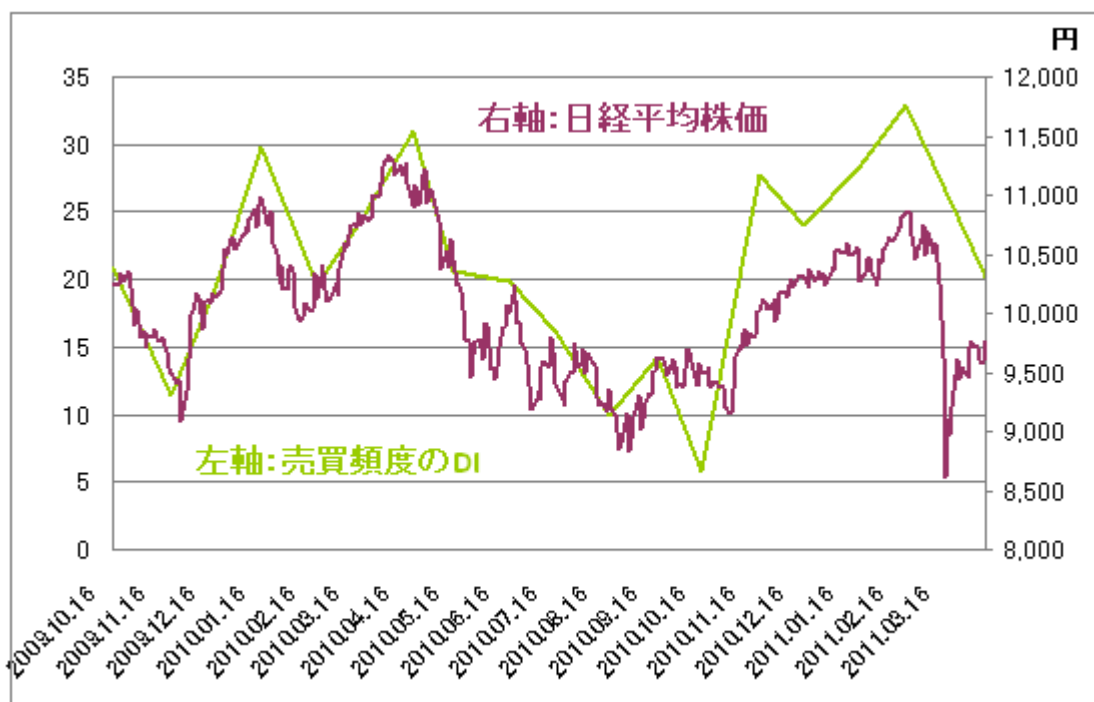
### (1) 日本市場の各業種に対する今後3ヶ月程度の見通し (魅力的であると思う業種のランキング)

2011年2月	2011年4月
1 ハイテク	1 医薬品
2 医薬品	2 ハイテク
3 商社	3 商社
4 自動車	4 機械
5 通信	5 通信
6 機械	6 鉄鋼
7 電力・ガス	7 自動車
8 非鉄	8 非鉄
9 鉄鋼	9 海運
10 海運	10 不動産
11 銀行	11 小売
12 不動産	12 銀行
13 小売	13 電力・ガス

医薬品がハイテクと入れ替わり1位に。鉄鋼が6位に浮上し、電力・ガスは13位に下降しました。

## 3 お客さまの日本株取引について

### (1) 今後3ヶ月の投資意欲について



DI (※) は 2010 年 5 月の水準に下降しました。(※DI : 売買頻度を増やしたいと回答した%から売買頻度を減らしたいと回答した%を引いたポイント)



## ■ 総括

今回の個人投資家サーベイは東日本大地震発生の1ヵ月後に実施されました。この間に日本株市場は記録的な急落を経た後自律反発し、日経平均で約9,500円程度の水準でもみあいが続いてきました。過去最大級の大地震と津波による甚大な被害、深刻な東京電力・福島第1原発事故、電力不足、サプライチェーンの寸断など戦後最大の経済危機に直面し、かつてないほど不透明感が高いなかのサーベイ実施となったわけです。従って、日本株の投資環境に関するDIが大きく低下することは予想の範囲でした。むしろ意外だったのは、DIは急低下したものの過去最低を下回らなかったことです。

例えば、今後3ヶ月の見通しに関するDIは過去最高に並んだ前回よりは低下しましたが、それでも「9」であるということは、今後上昇を見込む人が、下落を見込む人より1割程度多かったということです。過去最低を記録した昨年10月時点では同DIは「-4」とマイナス圏となりました。すなわち調査開始以来、上昇を見込む人よりも下落を見込む人の割合が多くなったのです。

また、日本株を買いたい水準についての質問では、グラフには表示していませんが実は「日本株は買いたくない」という回答の集計があります。昨年10月には「買いたくない」という回答が約9%ありましたが、今回は6%程度にとどまっています。こうしたことから分かるのは、これだけの未曾有の事態が発生し株価が急落しても、昨年秋ほど弱気見通しが増えていないということです。背景として、このサーベイからは為替の見通しが昨年10月と正反対になっているということが指摘できます。昨年10月には円高予想が最高となりましたが、今回は円安予想が最高となったばかりか円高の見通しが11%にまで低下しました。長らく企業業績の重石となってきた円高懸念が相当程度払拭されたことが、投資家の押し目買い意欲を減退させない材料となっているのではないのでしょうか。

今回も皆様のご協力により有益な調査結果を得ることができました。皆様の資産運用を考える一助となれば幸いです。

(マネックス証券 チーフ・ストラテジスト 広木 隆)



## ■ 調査の概要と回答者の属性

調査方式： インターネット調査  
 調査対象： マネックス証券に口座を保有している個人投資家  
 回答数： 945件  
 調査期間： 2011年4月8日～4月11日

### 【性別】

男性	女性
83.9%	16.1%

### 【年齢】

未成年	20代	30代	40代	50代	60代	70歳超
0.3%	5.2%	23.3%	30.1%	17.2%	17.5%	6.5%

### 【金融資産】

500万未満	500万 ～1000万	1000万 ～2000万	2000万 ～5000万	5000万 ～1億	1億以上
29.4%	23.0%	21.7%	17.6%	6.8%	1.6%

### 【売買頻度】

デイトレ	週に数回	月に数回	数ヶ月に1回	それより少ない
4.2%	14.0%	29.7%	27.3%	24.8%

### 【株式投資のご経験】

1年未満	2年～5年	5年～10年	10年以上
8.1%	26.1%	27.4%	38.3%

本情報は当社が実施したアンケートに基づいて作成したものです。

- ・ 本情報は売買のタイミング等を反映したものではなく、また示唆するものではありません。
- ・ 当社は記載した銘柄の取引を推奨し、勧誘するものではありません。
- ・ 当社は本情報の内容に依拠してお客さまが取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。
- ・ 銘柄選択や売買タイミングなどの投資にかかる最終決定は、お客さまご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。

## マネックス証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号  
 加入協会：日本証券業協会、（社）金融先物取引業協会